

# 久尻用水200年

久尻用水を守る会 加藤辰亥

## ■ 久尻用水について (泉西公民館ウォーキング資料より)

### 1 久尻用水の概要

- 工事期間：文政6 (1823) 年から、文政9 (1826) 年 約3年。
- 深沢川の五斗蒔に取水口を作り、深沢川の東中腹を通り、字堤内の天王池までの、延長5049mの水路 (天王池もこの時作られた)

### 2 なぜ久尻用水を引くことを決めたか。

- 久尻には久尻川・寺下川など小さな河川じかなく、雨が少なく旱魃のときは米がとれなくて貧乏をしていた。

### 3 誰が久尻用水を引くことを思い立ったから

- 2説ある

1つは久尻の大工 土本善七さん。

(昭和57年2月に発行された泉小学校の社会科副読本 (教科書の補助教材) より)

もう1つは、村役人や百姓の代表が話し合っただけで決めた。

(平成元年10月に発行された『ふるさと泉 人物編』より)

### 4 困難の大きな工事であった

- 工事は、役所から何の補助もない「自普請 (自分たちが全ての責任を持って行う)」で行った。
- 工事は、農閑期 (春先、晩秋、冬) に行った。
- 現在のような測量機器や工事用機械のない時代であった。

①適切な勾配を測る

②水路を谷川に渡す

③トンネルを掘る

④石垣を作る

- 岡田仁一さんが先祖 (当時の庄屋) から受け継いだ古文書資料

『当用水路自普請出来形帳』によると、これに要した人足は、延べ1万6764人。  
この頃の久尻村は戸数205戸、人口894人。

# 久尻用水コース

**久尻用水跡の石垣**  
 文政9年(1826年)、水不足に悩む久尻村では、深沢川の水を利用するため、農民の手によって約4年の難工事のすえ、五斗蒔から天王池まで約5km(2777間)の用水路を完成した。  
 久尻用水は中央自動車道建設工事まで使われたという。



東海環状自動車道  
 五斗蒔スマートIC



- 工事開始 文政6年(1823)3月
- 工事終了 文政9年(1826)2月
- 用水の長さ 2,777間(約5,049m)
- 使用人足 延べ16,764人
- 手当米 125石4斗8升6合2勺 (※1人当7合5勺)



## 活動概要

土地の四季の魅力や歴史を暮らしに組み込むこと。

- 久尻用水の全長5kmの周辺には自然と文化・産業遺産が多数ある。(約20カ所)
- 「久尻用水を守る会」は用水路の保存・整備だけでなく他の文化・産業遺産を活用し自分の町らしさ・誇り・自慢に結びつける事により住民の郷土愛を深める。
- 子供たちが成長し出身地等の自己紹介の折には30分は自慢話ができるかも。
- また、年配者は「語り部」となり魅力を自分の自慢話のようにみなさんへ楽しく語ってもらう。  
郷土ウォーキングにも参加していただき、人とのふれあいを生きがいとする。

1 久尻用水の調査活動

2 久尻用水のいわれなどの周知

3 散策される方への案内、  
歴史的説明、安全指導など

4 久尻用水の保存・整備活動、  
地域作りの進展に寄与する

## ちよつと雑学

諸説あります



当時の人 (1823年…工事が始まった年)

### 1 将軍 家斉

- ①1773年生まれ 1841年没 (68歳)  
文政6 (1823) 年 将軍家斉さんは50歳

### 2 遠山左衛門尉景元

- ①1793年生まれ 1855年没 (62歳)
- ②通称 金四朗  
文政6 (1823) 年 金さんは30歳

### 3 清水次郎長 (山本長五郎)

- ①1820年生まれ 1893年没 (73歳)
- ②米問屋の息子  
文政6 (1823) 年 次郎長さんは3歳

### 4 井伊直弼

- ①1815年生まれ 1860年没 (45歳)  
文政6 (1823) 年 直弼さんは8歳

### 5 葛飾北斎

- ①1760年生まれ 1828年没 (68歳)  
文政6 (1823) 年 北斎さんは63歳

### 時は幕末に近い江戸後期

外国船が日本各地の近海に出没し、幕藩体制が揺らぎ始めるころ。  
明治維新は45年後ほど。